

小論文のポイントを押さえて、合格できる文章を書こう！

大学・短大・専門学校は、「教えてもらう」受動的な勉強だけではなく、「自分でテーマを見つけ、それを研究していく」ところです。

そのためには、教科書に書いてあるような事柄でも、「本当にそうなのか？」と疑問を持ち、「なぜ起こるのか」「この問題の背景にあるのは何だろうか」「どうすれば解決できるのか」というように、テーマを見つけることが大切です。

とくに大学や短大は、まさにこのようなことができる学生を発掘するために小論文を書かせるのです。例えば、通学路にタバコの吸い殻やゴミなどが落ちています。このような状況を見てあなたの考えを述べなさい、という課題が与えられたとしますどうしますか。もちろん「わからない」では、入試で落としてくださいと言っているようなものです。まず、身近なところから比較していきます。自分の部屋はどうか、我が家はどうか、友人宅は？ 駅のホームは？ 学校はどうか？ 投げかけようと思えば、いくらでも周囲の家々、施設などと比較して疑問を投げかけていき、それに答え、その答えにまた次の疑問を投げかけることをやってみるのです。

みんなが言っていることを「当たり前」のこととして飲み込まず、少しでも「あれっ？」と、ひっかかったことを「本当にそうなのかな？」と考えることが、その出発点です。最後に、もう一つ確認しておきます。



※ 周りで言われていることをそのままではなく、「自分の意見」を「自分の言葉」で独自に述べること

就職試験の作文問題

就職試験が解禁！ これから採用試験へと向かうみなさん、体調管理には十分に注意して、合格内定を勝ち取って下さい。さて、近年出題された作文問題を紹介します。

- ・ 社会人になるにあたっての抱負と心構え
- ・ 私の趣味／特技について
- ・ 学生生活で得たことと今後の生き方
- ・ 私のアピール
- ・ 高校生活で学んだもの
- ・ 私の自慢できること

作文試験のほとんどは、これらの「お題」がほとんどです。出題頻度の高い『社会人になるにあたっての抱負と心構え』では、以下の3点について書きましょう。

1つ目は、**責任感のある人間になる**ということ。自分の仕事に責任を持つ、与えられた仕事をしっかりやり遂げることが大切です。早く仕事を覚えて、仕事のできる人間になりたいという強い気持ちを出しましょう。

2つ目は、**社会のルールやマナーをしっかり守れる人間になる**こと。どんなに仕事ができても、ゴミのポイ捨てや飲酒運転をしたのでは信用・信頼を失います。遅刻や欠席をしない、連絡を必ず入れる、身だしなみを整えるなどもマナーの一つです。

3つ目は、**職場のチームワーク**を大切にして、人間関係の幅を広げていくことです。職場では何よりチームワークが大切です。上司・部下をはじめ、顧客とのコミュニケーションがうまくはかれないようではやっていけません。